

平成28年度
第2回
飯南町総合振興計画等評価委員会
報告書

平成29年3月24日開催
飯南町総合振興計画等評価委員会

1 はじめに

平成 28 年度は、「第 2 次飯南町総合振興計画」の初年度、「飯南町総合戦略」の 2 年目となる年です。両計画がより良く実施・実行されるとともに、時代の変化に沿うよう評価委員会より意見を出し、取りまとめています。

この評価報告書を基に、住民と企業・団体・行政が一丸となり、協働しまちづくりが進められるように政策・施策の検討資料としてご活用いただきますようお願いいたします。

2 評価の目的

飯南町総合振興計画等評価委員会設置要綱の規定により、飯南町の進むべき将来像及びそれを実現するための指針として策定した総合振興計画ならびにまち・ひと・しごと創生法に基づき策定した飯南町総合戦略の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するため評価委員会を設置し、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行います。

3 評価の方法

前回（平成 28 年 8 月 24 日）では、平成 27 年度事業の評価を行いました。今回は、前回の事業の中でも意見が多かった事業、評価の低かった事業をピックアップし、平成 28 年度の事業状況、平成 29 年度の取組み方針について説明を受け、意見交換を行っています。

評価委員から各事業について出た意見を報告いたします。すぐに対応できるものから中長期にわたる内容もございますが、今後の事業展開を行う際の参考となると考えております。

4 評価の結果

ア 評価方法

2 回目の評価委員会では、担当者より施策内容と実施状況の説明を受け、意見交換により出た意見・コメントを残しています。

イ 評価委員からの意見等

早期に対応してほしい内容、中長期に検討してほしいものがありますが、平成 29 年度の事業推進をより円滑にするため参考の一つとしてご覧いただきたいと思っております。

※施策番号 「振＝飯南町総合振興計画」「戦＝飯南町総合戦略」

① 第1部会 産業・自然環境

事業名	コメント・質問等
振 3-1、戦 3-1・3-2 園芸振興対策事業	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ i まるシェの年間売り上げが 1,500 万円では失敗である。要因分析をして方向転換や撤退など今後を検討すべき。 ・ i まるシェは、LLC での運営であるが、起業が合同で動くのは難しいのでは。発想したらすぐに動ける状況にするには役場主導で行っては。 ・ ぶなの里の売上が下がっている理由とその分析をしておくべき。 ・ 売り上げが上がる・下がるという原因を数値的に抑えておかないと分析ができない。季節や内容を把握しておくこと。 ・ 加工品比率が少ない。加工品の利益率が高いため、加工品製造を伸ばしていけないか。 ・ 品揃えについては、有線放送の活用や、電話予約で野菜を確保するなど仕組みを整える事も必要である。 ・ i まるシェは、入り口が閉まっている雰囲気があり入りにくい。車から降りたら野菜が見えるなど工夫すべき。 ・ 冬季のハウス園芸について検討してほしい。暖房コストに対し売り上げがどうかなど調査をしてほしい。
振 3-1、戦 3-1・3-2 森林セラピー推進事業	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内は行政にて社協などと連携して健康増進を進めていき、町外は観光で役割分担しながら進めていっては。 ・ ヤマメの放流などその地ならではのイベントが必要である。 ・ 季節ごとに生き物がいて、それを捕獲して観察するなど子どもの楽しみと環境学習に繋がる内容が欲しい。 ・ ストレスチェックも義務化され、病院と連携し、医学的な見地を明確にして進めてみるべき。 ・ 薬草なども取り入れて進めてみては。

<p>振 3-2、戦 3-1・3-3 担い手育成総合支援 事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な魅力があるという施策説明が必要。補助などの施策だけでなく、寒暖の差があるため美味しいものができるという事も説明が必要。 ・新規就農者にたいして町民の理解が低いと思う。地域の協力を得られるようにしなければならない。 ・現在、農業者も高齢化し辞めようとしている方が多くなってきている。新しい担い手を育成するとともに、完全引退させないためにもメインは新たな担い手、一部は既存農家が行うなど相互協力体制を整えては。 ・企業での農業進出を促すため、率先して企業の農業参入を支援しては。個人で進めるにはハードルが高いが、企業体であるとリスクマネジメントしやすくなる。 ・I ターンでの新規就農はリスクが高い。気候の変動によって収入が減少する事もある。失敗した際の救済システムも必要では。 ・農業後継者にも力を入れてほしい。既に親の経営状況も分かり、土地や施設・機器類など整備されており、技術力もある。新規では時間がかかるが、後継者となれば成長しやすいのではと思う。
<p>振 3-3、戦 2-1 ふるさと応援寄附促 進事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南町ふるさと会があるが、ふるさと納税について話が出ていない。まずはここでの PR が必要である。 ・ふるさと納税をさせるのが目的でなく、何かの施策で〇〇円必要と決めて集めていくのも良い。 <ul style="list-style-type: none"> ・・・・ファンドや企業版ふるさと納税の形 ・集まったお金がどのように使われたのかが不明。毎年自治区文書などで公表しては。地域住民も積極的になると思う。 ・商品も大量生産できる物ではなく、季節限定や数量限定などで提示してはと思う。 ・返礼品は 3 割以内を上限にすべきである。 ・単なる商品ではなく、観光も含めた発信をすべきである。
<p>振 3-3、戦 3-2 観光振興対策総合支 援事業（観光協会運 営事業）</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーラが動画で賞を受けた。神楽について翻訳しているので、外国の神楽見学などできないか。練習に参加するでも興味ができるのでは。 ・決済の方法が現金だけでなくカード決済についてもできるように。デビットカードも検討しては。 ・町内の案内が少ない。施設にしてもサイン（看板）が少ない。 ・赤穴八幡宮でも珍しいものがあるが表示が無い。縁結びとしても PR しては。

<p>振 3-4、戦 3-3 創業支援事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度開催したら頭打ちになると思うが、その後の支援も考えてほしい。 ・融資を受けることが条件での採択は良い。補助金としても審査しやすい。 ・若い方の雇用確保ももちろんだが、65歳以上でも労働力として考えていかないと労働力が足りない状況もある。 ・若い方の雇用先となる創業をターゲットにし、雇用先の確保を併せて行って欲しい。
-------------------------------	--

② 第2部会 保健・福祉・教育・文化

事業名	コメント
<p>振 2-1、戦 1-3 子ども子育て支援対策事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブは、赤名だけでなく頓原でも検討してほしい。 ・児童クラブは、行政だけでは実施が難しい。公民館や組織委員会などで検討してほしい。地域の子どもは地域が守るという所を行政以外でも考えてほしい。 ・支援が必要な児童の対応について、きちんと支援出来ていれば保護者も働きやすくなる。 ・企業の子育て認定は、フレックスタイムなどの導入など考えてもらえば、働きやすくなるのでは。 ・病児保育は、ファミリーサポートでは感染症の恐れもあるので預けられないので、施設や病院などで見てもらえないか検討してほしい。 ・優良企業認定の募集は引き続き進めてほしい。併せて、認定している企業の情報や求人などあれば積極的に出して欲しい。企業のイメージアップにもつながる。 ・ほっと Café は続けてほしい。良い取り組みである。 ・保育士を増やしてほしい。数が少ないのではなく、待機児童0の町も働きやすさに繋がる。
<p>振 2-1、戦 1-2 出会い創出事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の結婚式体験は面白い。子どもを集める事と併せて、子どもが好きな方が集まる場も考えては。 ・マリエやしとの取り組みは良い。しかし内容が伝わっていないためしっかりと情報発信をすべき。 ・出会いのイベントなどチラシは見るが、想像がつきにくい。書ける範囲で説明を入れるべき。 ・出会いについては、モデルケースがあると良い。成功事例があれば出してみてもは。 ・単独でイベント的にやるのは大変なので、ぼたん祭りやポピー祭りなど

	<p>イベントがあるから行くという気持ちの楽しさも取り入れて開催しては。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もりのすでは、ブライダルも考えられている。企業の企画で行うことを支援する事も良いのでは。
<p>振 2-2、戦 4-2 飯南高校教育支援事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の段階で、赤名と頓原で教育格差が出てきている。教育委員会は把握しているが、高校でも把握されているか。部活でも頓原が2つ、赤来は3つであり、生徒も選べない状況がある。これを放置しているのはどうかと思う。 ・人数が少ないため、選択肢が少なくなるのも困るが、保護者も聞いていない事がある。飯南高校に進学させるためには、保護者の理解が重要である。 ・今後、町内生徒では定員の半分以上となるため、町外県外から集める対策を引き続き強化してほしい。 ・高校の魅力化としては、部活や課外授業だけでなく、制服や雰囲気も魅力の一つである。トータルで特色を出して欲しい。 ・飯南町ならではの部活の設置はできないか。山岳部など。 ・ハンドボールがしたくて入る方もいる。部活が少なくなるのであれば、選択と集中で積極的な支援と強化を図るのも良いのでは。 ・学力レベルとしては県内では平均以下と聞く。地元だから入るのではなく、魅力が無いと地元でも行かなくなる。学力の向上もしっかりしてほしい。
<p>振 4-2、戦 4-1 医療従事者確保対策事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでは、医師・看護師・薬剤師のみとなっているが、介護福祉士の支援をする事も記載すべきである。 ・国家資格を有する人材であるので、臨時であっても給与が上がる仕組みも必要では。正規で入れたいという気持ちもあるかと思うが、結婚や出産などで働きにくい方が働ける形を作ってみては。 ・資格を持っている方が働きやすい環境や賃金も考えていくべき。 ・この制度を通じて医療関係への就職を目指す子どもたちが増えてほしい。
<p>振 4-3 生活困窮者自立相談支援事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
<p>振 4-4 障がい者地域生活支援事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもでも障がいを持つ方が多くなっている。この子たちが大人になっても安心して生活できるよう継続して進めてほしい。 ・老人ホームなど施設が古くなってきている。経費的に厳しいかもしれないが、町として考えてほしい。

③ 第3部会 自治・協働・生活環境・定住

事業名	コメント
振 1-1・1-5、戦 2-2 住みよい地域創造事業	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 頓原地区では新しい施設ができ、老人クラブや婦人会など横の連携が強化されるよう支援してほしい。 ・ 小さな拠点では、拠点施設の設置だけでなく、誰が何をし、どのような仕組みが必要なのかを細かくやっつけていかないといけない。 ・ 各地域が自分たちでやっていくという意識づくりから始まる。自治会や公民館などまとめる作業をしっかりとし、浸透されていく必要がある。 ・ 小さな拠点は公民館単位を想定しているが、自治会ごと、小学校校区単位など地域の実情に沿って進めるべき。 ・ 行政主導ではなく、地域住民自ら考えていく、動いていく事が必要であるため、行政は地域の動きをしっかりと支援していく必要がある。 ・ 各地域に 50 万円ずつ平等に配る形では成果が出にくい。各地に配るよりも、各地域への研修会や連絡会の設置、各地域からの提案を基に補助を算出するなどした方が主体性が出るのでは。 ・ 各地域で温度差もあり、地域の考え方も違うので、地域に合わせた支援や人づくりをしては。人口規模も考えた方法も検討しては。
振 5-1、戦 2-2 三十路式事業	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 28 年度は開催が秋口になり遅かったため参加者が少なかった。早めの打診が必要。 ・ 同窓会など企画と運営する人が決まらず行っていない学年が多い。この三十路式事業では、30 歳という機会に幹事が定まり、柱となって動くきっかけとなる。U ターン対策以外でも、飯南町の応援団として今後の活躍が期待できる。
振 5-1、戦 2-1・2-3 定住促進対策事業	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ U ターン対策として住むものと出ている者の仲間との交流会など開催しているのは良い取り組みである。継続して進めてほしい。 ・ 高校の魅力化としても、将来飯南町に帰りたいと思わせる対策を引き続き検討してほしい。 ・ 定住に力を入れるためには、役場職員の担当者を増やしてはと思う。きめ細やかな対応で決まることもあり、受け入れる側の姿勢や体制も強化しないといけない。 ・ I ターン者からも定住担当者の気持ちの良い対応があったからこそという声もあった。より充実されるためにはこの点も引き続き強化すべき。 ・ 住民の意識も変えなければならぬ。「なぜここに来たのか？」ではなく「ようこそ飯南へ」という事が言えるようにならなくては。

<p>振 5-2、戦 4-3 飯南町地域公共交通 網形成計画策定</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型タクシーと併せて、自治会輸送も検討していけば、より良い交通機関が見つかると思う。 ・運行ダイヤについては、診療時間なども考慮してほしい。 ・デマンド型タクシーは、以前の運行よりも使いやすくなった気がする。バス内でも案内板があり、わかりやすくなっている。 ・人口は減少している状況のため、利用してもらうための手厚い宣伝が必要。利用が少ないから路線が減少という流れにならないように。 ・新しいバスの導入の考えも必要だが、タクシーをうまく使えるようにすればと思う。
<p>振 5-2 住宅店舗等リフォーム等助成事業（浄化槽・下水処理接続）</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道、下水道使用料は近隣市町と比べてもあまり変わらないが、料金を安くする方法があれば教えてほしい。 ・環境保全のためにも継続的にと思う。
<p>振 5-2 情報通信基盤整備事業</p>	<p><コメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備経費も高額のため、CATV の利活用と併せて検討してほしい。ネットが早くなるだけでなく、投資した分をどのように回収していくのかを考えて進めてほしい。 ・需要と供給のバランスが難しいが、不便を感じている現状があるので広域での協議だけでなく、住民の意識調査を行ってみては。

<その他 全体でのコメント等>

- ・町外者の情報収集は飯南町ホームページが中心となるため、小さなことでも掲載し充実を図るようにしてほしい。
- ・UI ターンなど定住に力を入れるなら、ホームページを開いてすぐに目に付く場所に「定住相談受付中」など貼り付けては。リンク先の一つでは目立たない。

5 評価委員による見直しに係る提言

より一層効果的な評価を行うために、下記の点について提言いたします。

○事業分析について

特に産業振興では、総売上などの目標数値の把握はありますが、より詳細の把握（分析）がなく取り組まれています。人を集める、売り上げを上げるためには、季節や周辺状況も把握（分析）しながら対策を講じる必要があると考えます。

6 添付資料

- ・平成 27 年国勢調査結果概要 確定値
- ・進捗管理シート 第 1 部会、第 2 部会、第 3 部会

7 平成 28 年度 第 2 回飯南町総合振興計画等評価委員会

部会	氏名	所属等	備考
委員長	赤穴 憲一	第 1 部会委員兼務	
副委員長	奥野 恵子	第 3 部会委員兼務	
第 1 部会 部会長	田部 高久	住民	
第 1 部会	赤穴 憲一	住民	
第 1 部会	門所 詠子	住民	
第 1 部会	長谷川 孝志	飯南町商工会 会員	欠席
第 1 部会	高橋 正好	下赤名ファームエンジニアリング 代表	
第 1 部会	徳永 光子	(株)山陰合同銀行赤名出張所 所長	欠席
第 1 部会	松浦 秀樹	(株)山陰合同銀行頓原出張所 所長	
第 2 部会 部会長	多久 悟史	住民	
第 2 部会	芥川 優子	住民	
第 2 部会	三島 陽子	住民	
第 2 部会	日高 敬二	住民	欠席
第 2 部会	石田 真弓	住民	
第 2 部会	小野 彰	飯南町社会福祉協議会 事務局長	欠席
第 2 部会	上田 英希	飯南町 P T A 連合会 副会長	欠席
第 2 部会	矢飼 斉	来島小学校 校長	欠席
第 3 部会 部会長	服部 恵子	国道 5 4 号活性化アクションプラ ン推進協議会	
第 3 部会	安部 順郎	住民	
第 3 部会	奥野 恵子	住民	
第 3 部会	岸 光研	住民	欠席
第 3 部会	石川 隆	住民	
第 3 部会	高尾 雅裕	山陰中央新報社 論説委員長	欠席
第 3 部会	有田 昭一郎	島根県中山間地域研究センター 地域研究スタッフ 主席研究員	欠席